

## 受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。  
さて、「米国厳選優良株ファンド（実績報酬型）」は、このたび、第1期の決算を行いました。

当ファンドは、米国厳選優良株マザーファンドを通じて、米国の上場株式（これに準ずるものを含みます。）に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 第1期末(2024年1月26日)

基準価額	10,779円
純資産総額	75百万円
第1期	
騰落率	7.8%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、SBI岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

# 米国厳選優良株ファンド (実績報酬型)

追加型投信/海外/株式

作成対象期間：2023年7月28日～2024年1月26日

## 交付運用報告書

第1期(決算日2024年1月26日)

**SBI 岡三アセットマネジメント**

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ

フリーダイヤル ☎0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

お取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

[ホームページ]

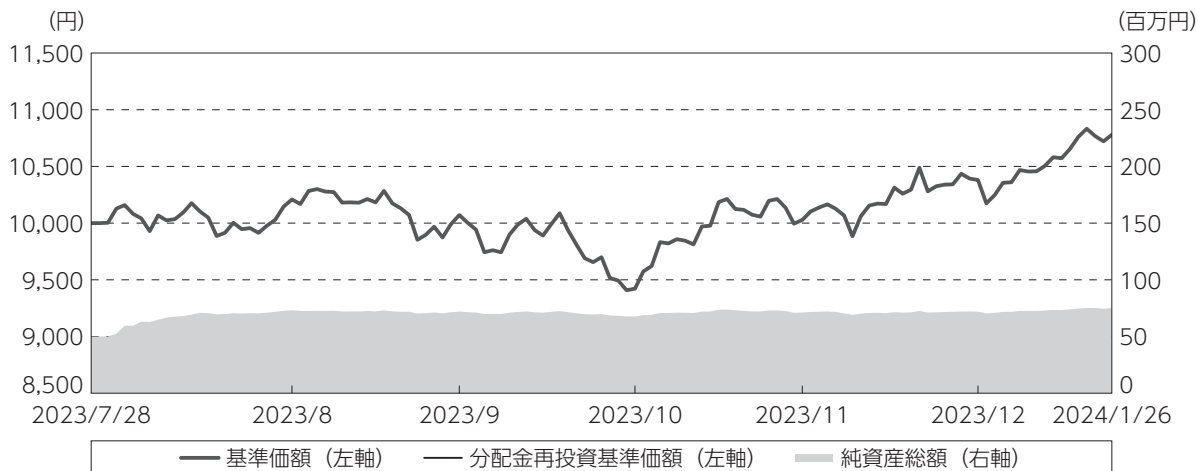
<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2023年7月28日～2024年1月26日)



設定日：10,000円

期 末：10,779円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率： 7.8% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、設定日(2023年7月28日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。(以下同じ。)

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主な投資対象である「米国厳選優良株マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

## (主なプラス要因)

- ・好決算を発表したソフトウェア・サービス株や半導体・半導体製造装置株が上昇したことがプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、ニュータニックスやサービスナウなどの上昇がプラスに寄与しました。
- ・為替市場で米ドルが円に対して上昇(円安)したことがプラスに寄与しました。

## (主なマイナス要因)

- ・業績見直しに対する不透明感からヘルスケア機器・サービス株や食品・飲料・たばこ株が下落したことがマイナスに影響しました。
- ・個別銘柄では、アーチャー・ダニエルズ・ミッドランドやインスパイア・メディカル・システムズなどの下落がマイナスに影響しました。

## 1万口当たりの費用明細

(2023年7月28日～2024年1月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬(基本報酬)	7 円	0.065 %	(a)信託報酬(基本報酬) = 期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 3 )	(0.028)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	( 3 )	(0.028)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 1 )	(0.010)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 信託報酬(実績報酬)	93	0.933	(b)信託報酬(実績報酬) = (実績報酬控除前基準価額－ハイウォーターマーク)×10% ファンドの運用実績に応じた報酬
(c) 売買委託手数料	11	0.113	(c)売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
( 株 式 )	( 11 )	(0.113)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(d) 有価証券取引税	0	0.000	(d)有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
( 株 式 )	( 0 )	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用	83	0.832	(e)その他費用 = 期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 80 )	(0.802)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 1 )	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 2 )	(0.023)	その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合 計	194	1.943	
期中の平均基準価額は、10,018円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

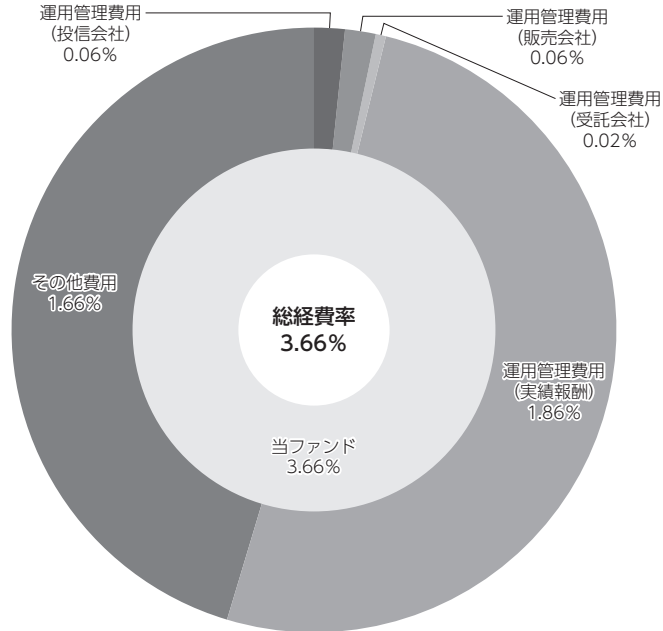
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.66%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2019年1月28日～2024年1月26日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、設定日(2023年7月28日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2023年7月28日 設定日	2024年1月26日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,779
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	7.8
S&P500トータルリターン 指数[円換算後]騰落率 (%)	—	15.1
純資産総額 (百万円)	50	75

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2024年1月26日の騰落率は設定当初との比較です。

(注) S&P500トータルリターン指数[円換算後]は当ファンドの参考指数であり、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて当社が算出しています。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

## 投資環境

(2023年7月28日～2024年1月26日)

米国株式市場は、2023年7月下旬から10月下旬にかけては、高いインフレ率が予想以上に長期化するとの思惑から長期金利が上昇したため、下落しました。11月上旬から12月下旬にかけては、米連邦準備制度理事会（F R B）による金融引き締め政策が終了するとの期待から長期金利が低下したことが好感され、反発しました。2024年1月上旬から下旬にかけては、大手ハイテク株を中心に良好な決算が多く発表されたことから、業績見通しに対する楽観的な見方が強まり、上昇しました。

為替市場では、2023年11月下旬から12月下旬にかけては、一時的に円高の動きとなったものの、期を通じては円安の展開となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2023年7月28日～2024年1月26日)

## &lt;米国厳選優良株ファンド（実績報酬型）&gt;

「米国厳選優良株マザーファンド」受益証券の組入比率は、2023年7月下旬から10月下旬にかけては、通常よりも低めの組入比率としました。11月上旬から2024年1月下旬にかけては、徐々に組入比率を引き上げました。

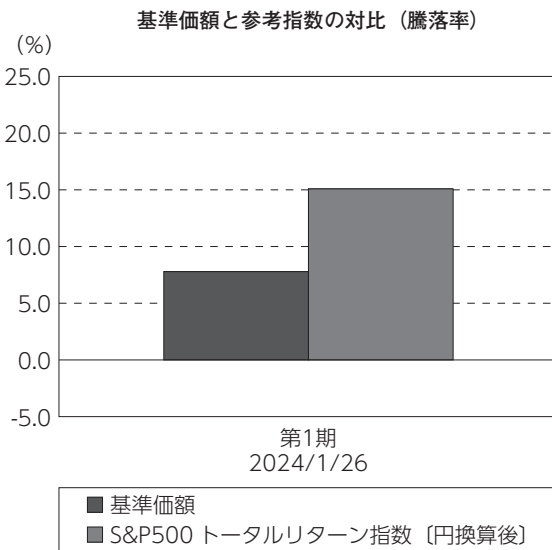
## ○米国厳選優良株マザーファンド

運用状況につきましては、ソフトウェア・サービス株や半導体・半導体製造装置株、資本財株を高位にウェイト付けしました。期中の投資行動としては、耐久消費財・アパレル株や消費者サービス株などの買付けを行い、ウェイトを引き上げました。一方、業績見通しに対する不透明感が強まったエネルギー株や生活必需品株の一部を売却し、ウェイトを引き下げました。なお、組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針に則り、為替ヘッジは行いませんでした。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年7月28日～2024年1月26日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、S&P500 トータルリターン指数 [円換算後] です。

## 分配金

(2023年7月28日～2024年1月26日)

当ファンドは、毎年1月26日および7月26日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象収益として、基準価額水準等を勘案して分配金額を決定します。当期の分配につきましては、投資信託財産の成長を目指す観点から、見送りとさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行います。

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第 1 期
	2023年7月28日～ 2024年1月26日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	778

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### (投資環境)

米国株式市場は、2024年5月頃までは上下にもみ合う展開が想定されます。株価は良好な企業業績を好感して上昇してきたものの、今後は上昇ペースが鈍化すると考えられます。また、底堅い経済指標が多く見られることから、長期金利の低下も緩やかになることが予想され、株式市場は売り買いが交錯する展開になると想定されます。その後は、企業業績回復やFRBによる利下げに対する期待から、株価は堅調に推移すると予想します。

### (運用方針)

#### <米国厳選優良株ファンド(実績報酬型)>

「米国厳選優良株マザーファンド」を通じて、安定的なキャッシュフローの拡大が期待できる銘柄に選別して投資します。「米国厳選優良株マザーファンド」受益証券の組入比率は、概ね高位を維持する方針です。

#### ○米国厳選優良株マザーファンド

業種配分としては、持続的なキャッシュフローの成長が期待できるソフトウェア・サービス株や半導体・半導体製造装置株、株価バリュエーション面において割安と判断される資本財株を高位にウェイト付けする方針です。

## お知らせ

該当事項はございません。

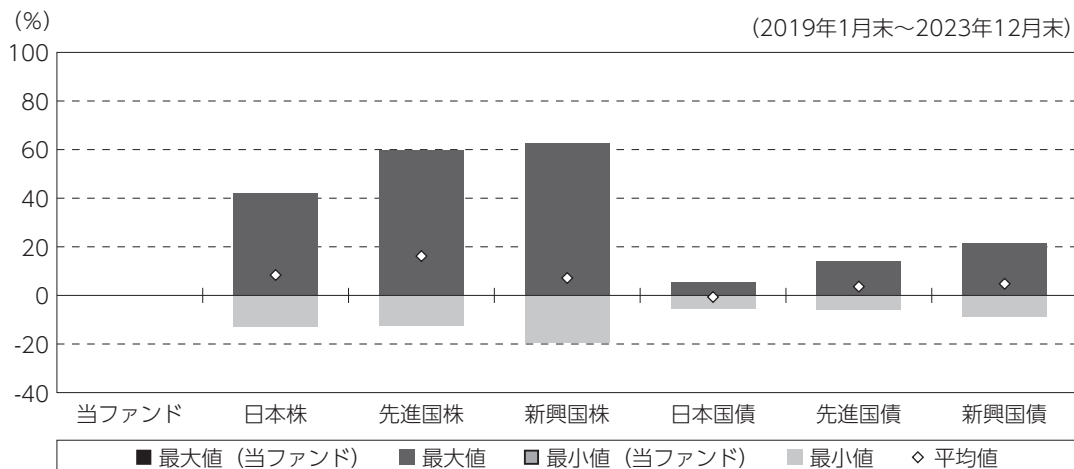
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2023年7月28日から2045年7月26日までです。	
運用方針	米国厳選優良株マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、米国の上場株式（これに準ずるものを含みます。）に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いませんが、大幅な米ドル安円高が予想される場合等には、為替ヘッジを行う場合があります。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	米国厳選優良株マザーファンド	米国の上場株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	米国厳選優良株マザーファンド	運用にあたっては、フリーキャッシュフローの成長性等に着目し、持続的で安定的かつ高い収益成長が期待できる銘柄に投資を行います。ポートフォリオ構築にあたっては、市況動向、株価バリュエーションおよび流動性等を考慮します。
分配方針	毎年1月26日および7月26日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、分配対象収益の範囲内で、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。委託会社の判断により、収益分配を行わないことがあります。	



## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	-	42.1	59.8	62.7	5.4	14.3	21.5
最小値	-	△ 12.8	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	-	8.4	16.2	7.2	△ 0.7	3.6	4.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年1月から2023年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、運用期間が1年未満であるため掲載していません。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

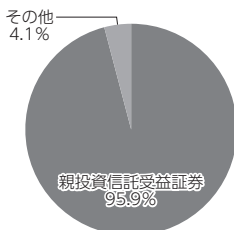
## 組入資産の内容

(2024年1月26日現在)

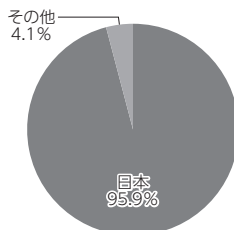
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第1期末
米国厳選優良株マザーファンド	95.9%
組入銘柄数	1銘柄

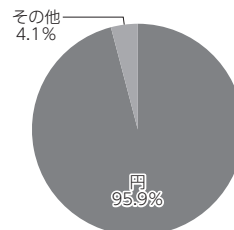
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

項目	第1期末
	2024年1月26日
純資産総額	75,042,260円
受益権総口数	69,621,996口
1万口当たり基準価額	10,779円

(注) 当初設定元本額は50,000,000円、期中における追加設定元本額は25,478,486円、同解約元本額は5,856,490円です。

## 組入上位ファンドの概要

## 米国厳選優良株マザーファンド

当運用報告書作成時点において、開示できる情報はありません。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

### ○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

### ○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ○NOMURA – BPI 国債

NOMURA – BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

### ○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ○JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。